

石川病薬ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和3年(2021)/7.31 発行 No. 177

CONTENTS

- ・巻頭言
- ・第71回石川県病院薬剤師会定例総会
- ・学位取得者紹介
- ・学術研修会
- ・薬局の窓口から
- ・エキスパートに聞く! ～輝く石川のキラ星～
- ・委員会報告
- ・となりの薬薬連携物語
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

石川県病院薬剤師会の将来ビジョン

石川県病院薬剤師会 会長 金沢大学附属病院 崔 吉道…… 1

〔第71回石川県病院薬剤師会定例総会〕…… 3

〔学位取得者紹介〕

双性イオンとなる薬剤と医薬品添加物であるメタクリル酸コポリマー LD (腸溶性コーティング剤) の同時懸濁による凝集物形成の検討 金沢大学附属病院 中川祐紀子…… 17

〔学術研修会〕

令和2年度第1回(通算第170回)学術研修会 JCHO金沢病院 本田 恭子…… 20

発表者報告

脳卒中患者に対するアマンタジンがFIM改善効果に与える影響 小松市民病院 西田 知世、他…… 23
アルコール依存症の治療におけるナルメフェンの有効性と安全性について

石川県立高松病院 北 侑未、他…… 25

入院患者の不眠症治療への関わり -ベンゾジアゼピン受容体作動薬減量フローチャートを作成して- KKR 北陸病院 若林 厚史、他…… 27

閉鎖式薬剤移送システム(エクアシールド®)の接続回数による抗がん剤検出量の検討 金沢医科大学病院 本江 駿、他…… 29

インスリン製剤のバイオ後続品導入初期加算算定率向上への取り組み 金沢医療センター 表 早紀、他…… 31

院内処方箋への腎・肝機能検査値印字の取り組み ~実施後1年間の評価~ JCHO金沢病院 鎌田 紫織、他…… 33

薬剤師病棟配置に向けた取り組み 石川県立中央病院 太田 侑歩、他…… 35
オキサリプラチン含有中等度催吐リスクのレジメンに対する制吐薬の検討

金沢大学附属病院 堀 祐貴、他…… 37

周術期における薬剤師の関わり ~術前・術日・術後を通して~ 公立松任石川中央病院 徳用百合奈、他…… 39

保険薬局を対象とした薬薬連携の現状に関するアンケート調査 浅ノ川総合病院 藤田未来也、他…… 41

抗がん剤の調製経験と調製時間の関係 金沢市立病院 下平 彩乃、他…… 43
シームレスな地域連携を目指すための第一歩 退院時薬剤管理サマリーを活用した当院の取り組みの現状と課題

石川県済生会金沢病院 西川 達也、他…… 45

〔薬局の窓口から(81)〕

PFM業務への薬剤部の取り組み 金沢医科大学病院 二見和由美…… 47

〔エキスパートに聞く! ~輝く石川のキラ星~(19)〕

日本服薬支援研究会 簡易懸濁法認定薬剤師 国家公務員共済組合連合会 北陸病院 田畑 寛明…… 49

〔委員会報告〕

令和2年度第1回精神科病院委員会研修会 報告 ~知っておきたい!せん妄の基本と対策~ 金沢大学附属病院 坪内 清貴…… 52

精神科臨床薬学研究会北陸ブロック 2020年度下期講演会報告 浅ノ川総合病院 澁澤 宗…… 54

第33回中小病院薬剤師研修会報告 加賀市医療センター 大田 栄一…… 57

〔となりの薬薬連携物語〕 金沢医療センター 秋山 哲平…… 68

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕…… 71

〔南船北馬〕…… 73

〔寄稿〕

「古寺との結縁-54」峰定寺 ~山中の古刹からまつわる思い出~ 院瀬見義弘…… 74

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕

表紙写真 撮影
: 熊走 尚志

蝉の羽化

卵から幼虫そして成虫となる。幼虫を穴ゼミといって地中で数年~十数年、そして蝉となって数週間の命、羽化から成虫になるのは約30%らしい。裏表紙は金沢駅兼六園口の鼓門(つづみもん)、高さ13.7m。加賀宝生の鼓をイメージ、幾何学的模様の3019枚のガラスの天井。「もてなしドーム」という名称で呼ばれている。

巻頭言

石川県病院薬剤師会の 将来ビジョン

石川県病院薬剤師会 会長 崔 吉道
金沢大学附属病院

石川県病院薬剤師会会員の皆様、会長拝命3期目にあたりご挨拶申し上げます。

これまでの2期4年の任期中は、柏原前会長はじめ歴代の諸先輩方が築いてこられた事業を引き継ぐとともに、各医療圏の地域ニーズの汲み取り、施設間の連携強化、会員の高い専門性の波及、新カリキュラム病院実務実習生の受け入れ体制の構築、地域医療連携の推進と薬剤師の地域偏在対策、将来を担う優れた人材育成について取り組み、具体的には、医療圏を意識した会員名簿への刷新、Ishikawa Pharmacy Director Seminarの開催、専門薬剤師等支援事業の立ち上げ、施設間の人事交流モデルの提示、地域医療推進委員会の新設、地域一体型（在宅・NST）委員会の改組、臨床実習委員会の新設、役員定数の拡大、各委員会の目的と特性を踏まえた委員会定数の弾力的な運用等を進めてきました。これらの活動の実施にご理解ご支援いただいた会員各位にこの場をお借りして御礼申し上げます。

しかし、私たちは、コロナ禍を克服しニューノーマルでの県病薬活動の更なる充実化、薬剤師関連の法令改正や引き続き進化する新たな薬剤業務への対応、地域包括ケアシステムの中の薬剤師の医療連携モデルの進化、今後を支える人材育成など、重要な課題に向けて歩みを進める必要があります。そのために、会長としての3期目に、以下の事項に取り込みたいと思います。

石川県病院薬剤師会会長としての今後2年間の取り組み

1. 役員構成の見直し
 - ・地域を代表する役員（支部役員）を増やす
 - ・会の継続性を保ちつつ、次世代へのバトンタッチ
 - ・役員任期制の導入
2. 事務局機能の強化と分担を検討
 - ・WEB遠隔研修、単位対応の強化
 - ・役員、委員会で業務分担を行う

3. 委員会活動の活性化

- ・委員会の人数を弾力的に運用する
- ・より多くの施設からの参加を促す（同一施設内での後任選びをできるだけ避ける）

4. 薬剤師会等他団体、行政との関わりの強化

- ・法改正、第8次医療計画、新型コロナ等への対応

私の描く石川県病院薬剤師会の2025年の将来ビジョンは以下の通りです。

石川県病院薬剤師会の将来ビジョン 2025

1. 全ての会員が病薬事業に主体的に関わっている
2. 超高齢社会において持続可能な地域完結型医療体制に大いに貢献している
3. 施設間連携、多職種連携、薬薬連携で互いに支えあっている
4. ICTやデータサイエンス、デジタルトランスフォーメーションに対応している
5. 薬剤師偏在への対応や人材育成を他力本願にせず、自分たちの問題として行動している

その実現のためには、会員一人ひとりの力が必要です。

会員の皆様には、是非、石川県病薬が「老若男女全ての会員の皆さんの会である」こと、「薬剤師が生き生きと職能を発揮し、職責を全うすることを互いに支えあうための組織である」ことをご理解いただき、これまでも増して本会に積極的に関わっていただければと思います。

引きつづき暖かいご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。